



美木中だより 4月号

学校教育目標

自立貢献

～自己を認識し、自分の人生を選択し、
表現することのできる生徒の育成～

令和8年4月13日
発行
尾道市立美木中学校

『気持ち新たに』 ～新年度のスタート～

3年生・2年生のみなさん。進級おめでとうございます。節目の時を迎え、きっと気持ち新たに4月を迎えていることと思います。どんな1年にしていきたいか、しっかりと目標を立て、その達成に向けて、挑戦し続けてくれることを期待しています。また、みなさんの思いにこたえるため、私たち教職員も尽力していきたいと思っております。

さて、校長先生から、始業式の式辞の中で、「この1年も、美木中学校を明るく、楽しく、元気な、活気ある、にぎやかな学校にすることにチャレンジしたいと思っています」というお話がありました。生徒のみなさんも、私たち教職員も、日々の学校生活や行事の中で、この目標を達成できるよう、「チーム美木中」で取り組んでいきたいと思っております。これから1年間、どうぞよろしくお願ひいたします。

第80回入学式が行われました 【4月7日(火)】

4月7日(火)、第80回入学式が挙行されました。午前中は雨模様でしたが、入学式の時には晴れ間が見え、64名の新入生が希望を胸に入学しました。新入生のみなさんは、どんな気持ちで入学式の日を迎えたのでしょうか。中学校生活への「不安」が大きかったですか。それとも「ワクワク」や「ドキドキ」が大きかったですか。いずれにしても、私たちはみなさんのことをしっかりサポートしていきます。ぜひ、1日でも早く、美木中学校での生活に慣れ、みなさんが安心して様々なことにチャレンジできるようになってほしいと思います。

保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。これから始まる中学校生活が、充実した素敵なものになることを心よりお祈りしています。すばらしい学校生活を送ることができるよう、全教職員が一丸となり邁進して参ります。

さて、新入生を迎え、本年度の美木中学校の生徒数198名【3年生：64名、2年生：70名、1年生：64名】となりました。切磋琢磨しながらの日々の成長をしっかりと見守っていきたく思います。これから1年間、どうぞよろしくお願ひいたします。



『みんなであたたかい昼食を堪能』 ～学校給食スタート～

今年度4月から美木中学校においても給食がスタートしました。3年生は2年間、2年生は1年間のブランクがあるため、給食の配膳に慣れるまでには、もう少し時間がかかるかもしれませんが、私たち教職員も配膳員さんと連携しながら、スムーズに給食準備ができるよう試行錯誤をしています。とはいえ、あたたかい料理をいただけるのは、とてもありがたいことだと思います。

保護者の皆様には、給食スタートにあたり、エプロンや三角巾や給食袋等のご準備をいただき、ありがとうございました。



「いつでも気軽に相談してください」

性暴力、体罰、いじめ
セクシャル・ハラスメント相談窓口

【相談内容】・教職員からの性暴力、体罰や
セクシャル・ハラスメントについて
・いじめについて

【相談窓口】 教頭 教務主任 養護教諭
その他話しやすい先生に
相談してください。

【連絡先】 尾道市立美木中学校 TEL 48-0515

SSR (スペシャルサポートルーム)

美木中学校のSSRは学校での集団生活になじみにくいと感じた時や心にしんどさを抱えた時の「居場所」また、自分の強みを知り強みを生かしながら「成長する場所」を目指しています。SSRの利用を希望する場合は学級担任またはSSR担当者(見越)に伝えてください。

式辞 (入学式)

美木中学校の桜も満開となり、新しい門出を祝福してくれている今日このよき日に、本校PTA副会長 井田 和宏様を始め、多くのご来賓の皆様、また保護者の皆様のご臨席を賜り、尾道市立美木中学校第八十回入学式を挙げていきますことに、衷心より、厚くお礼申し上げます。

また、先ほどは 尾道市教育委員会 委員 村上 節子様より尾道市教育委員会 告示をいただき、誠にありがとうございました。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございませう。皆さんの真剣なまなざしから、今日から始まる中学校生活への熱き思いが伝わってきます。

さて、今日からこの伝統ある美木中学校の生徒となった皆さんに三つのことを希望します。

一つ目は、「あたりまえのことを、あたりまえにできる生徒になる」ということです。難しい言葉で言うと「凡事徹底」と言います。中学校生活で言えば、「時間を守る」「挨拶をする」「授業を頑張る」「部活動を頑張る」「掃除を真面目にする」「学校のルールを守る」など、あたりまえのことを徹底して、やり切るということ。先月、美木中学校を卒業していった先輩たちは、一年生の時から三年間、「凡事徹底」を学年目標とし、あたりまえのことをあたりまえにやり切ることをコツコツと積み重ねました。そして、三年生の時には、ええじゃんSANS A・がり踊りコンテストで銅賞、尾道市中学校芸術祭音楽コンクールで準グランプリ、英検I B Aで優秀校となるなど、行事だけでなく、学習面でも数々の素晴らしい結果を残すまでに大きく成長しました。

昨年、ワールドシリーズを連覇し、今年も二刀流で大活躍を続ける大谷翔平選手も、「毎日コツコツ努力することが、遠回りに見えて一番の近道。」「一つひとつの積み重ねが自信になり、結果になる。」と語っています。皆さんにも、あたりまえのことをあたりまえにやり切ることで、達成感や満足感を味わい、自分に自信をもち、そして、自分のことを好きになってほしいと思います。そうなれば、物事を前向きに捉えられるようになり、新しい仲間とも良好な関係を築きやすくなり、楽しく、充実した中学校生活を送ることが出来ます。

二つ目は、「失敗を恐れず、積極的に挑戦する生徒になる」ということです。皆さんは、無限の可能性を秘めています。その無限の可能性を広げるために、いろいろなことに挑戦してほしいと思います。そのために一つお願いがあります。それは、教室を、失敗を笑わない、そして、失敗を恐れない、そういう場所にしてほしいということです。挑戦することを諦めることなく、どんどん自分の限界に挑戦してください。応援しています。

三つ目は、「こころの扉を拓く」ということです。この言葉は、本校の校訓です。学校では多くのことを学びます。しかし、多くの知識が身についたとしても、まわりの人への優しさや、思いやりを持つなど、人としての成長がなければ社会で生かすことはできません。そのために、こころの扉を拓き、豊かな心を育ててほしいのです。

皆さんが、学ぶ意欲を持ち、挑戦し続けることに期待しています。私たち教職員も、授業力に磨きをかけていきます。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠にありがとうございました。私たち教職員一同、生徒の限りない可能性を信じ、その力を最大限伸ばすことができるよう、全力を挙げる覚悟です。本校の教育方針をご理解の上、何卒ご協力賜りますようお願いいたします。

終わりになりましたが、ご臨席を賜りました皆様方の今後ますますのご発展とご多幸を祈念申し上げます。第八十回入学式の式辞といたします。

令和八年 四月 七日

尾道市立美木中学校長 阿世比丸 一樹